

事務事業評価資料

施策名	水産資源の増大		所管部局課名	農政環境部農林水産局水産課					
事業名	資源回復等推進支援事業		担当者電話番号	資源管理係 内線 4 1 6 2					
事業目的	ベニズワイガニ資源の回復								
事業内容	ベニズワイガニの資源回復あたり、新たに追加した休漁に対する経費を助成 補助対象者 ベにずわいかにかご漁業者 補助対象経費 新たに追加した休漁に対する経費 補助率 新たに追加した休漁期間の平均漁獲金額の64% 負担割合 国1/3、県1/3、漁業者等1/3 事業主体 全国漁業協同組合連合会			事業開始年度	17年度				
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(11,609 千円) 11,609 千円		(10,017 千円) 10,017 千円		(10,017 千円) 10,017 千円			
	人件費	847 千円	従事人員 0.1人	836 千円	従事人員 0.1人	820 千円 従事人員 0.1人			
	総コスト (+)	12,456 千円	従事人員 0.1人	10,853 千円	従事人員 0.1人	10,837 千円 従事人員 0.1人			
事業の目標	ベニズワイガニ資源の回復の促進			[目標設定理由]水産加工業者及び消費者へのベニズワイガニの安定供給に資するため					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	取組による1隻当たりの漁獲量	計画策定前漁獲量/隻の10%増(277t)	23	309 (40 千円)	277 (39 千円)	277 (39 千円)	111.6%	100.0%	100.0%
評価結果	必要性	・対象魚種であるベニズワイ資源は、地域の加工業及び観光業においても幅広く利用されており、関連産業が連携して地域の活性を促進させるためには必要である。							
	有効性	・対象魚種であるベニズワイ資源が、当該事業の取組により、復調傾向の兆しを見せ始めており、当該事業は有効である。							
	効率性	・当該事業の取組内容である休漁は、資源を復調させる最も効率的な手法であり、休漁に対する支援は効率的に行われている。							
	民間・市町との役割分担	・国、県、漁業者で協調して、取組に必要な資金の造成を行っている。 ・漁業者等は、当該事業の取組みに係る計画策定を行い、市町は、ベニズワイガニの資源管理の取組みが付加価値向上に繋がるような情報発信を行い、取組みの継続と知名度向上を図っている。							
	受益と負担の適正化	・当該事業は、受益者となる対象漁業者自身も1/3の負担をしている。 (国1/3、県1/3、漁業者1/3)							
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 統合	凍結(休止)	実施手法の見直し 延長		終期設定	
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	P F I	負担割合変更	事務改善	その他	
	説明	本事業はベニズワイガニ資源の回復に有効であり、最終目標の達成を維持するため、資源回復計画期間を事業実施期間として平成23年度まで実施する。							